

平成25年度 第2回函館市行財政改革推進統括会議

日時 平成25年10月24日（木）14：30～15：30
会場 市長会議室
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，山本教育長，秋田企業局長，
谷口企画部長，川越総務部長，山田財務部長

議題 ◎函館市行財政改革プラン 2012 の進捗状況について＜対応：万丈行政改革課長＞
◎函館市の財政状況について＜対応：小林財政課長＞

◆議題の趣旨◆

函館市行財政改革プラン 2012 の進捗状況および函館市の財政状況について，報告を行いました。

◆協議の結果◆

函館市行財政改革プラン 2012 の進捗状況および函館市の財政状況について，確認がなされました。

◆主な発言◆

（中林副市長）

職員による提案制度は機能しているのか。既存の制度では，なかなか出て来ないのではないか。

（工藤市長）

政策立案など，全庁的な視点に立った提案よりも，まずは，自分の所属する部署での改善について考える職員になってほしい。異動して2年，3年経過しても漫然と業務を行うのではなく，1年もしたら，疑問などが見えてくるはずである。そうしたことを周囲と議論するなどして，職場が活性化すれば良いと思っている。

管理職についても，そうした職員の声を押さえつけるのではなく，きちんと耳を傾け，仮に実現困難な提案であったとしても，どう改善すれば，よりよい提案になるのかをアドバイスするなど，意識を変えていく必要がある。

（総務部次長）

現行制度は，政策立案というよりも事務改善に係る提案を主眼としているが，現状，うまく機能しているとはいえない。課題を整理し，提案を引き出す手法等についても，

様々な可能性を模索していきたい。

(工藤市長)

職員間の情報共有に関しては、市が行おうとしている全体的なまちづくりについても、職員一人ひとりがきちんと認識する取り組みが必要である。

(総務部長)

各部局長を通じて、その旨、改めて周知を図っていきたい。

(中林副市長)

未収金対策について、平成24年度の取り組みをB評価(計画どおり)とした理由は何か。A評価でもよいのではないか。

(財務部長)

未収金対策は、前年よりも収入率を向上させるなど、取り組み自体は評価できるものであるが、現状は、あくまでも平成28年度の目標収入率達成に向けた過程の段階にあることから、B評価としたものである。
